

1 概況

令和8年3月に本校を卒業した17期生119名(男子57名、女子62名)は、入学時にコロナ禍による自宅学習が重なり、様々な社会変化が起こっていく中で中央中等生活の幕開けとなりました。そういった困難の中で、「第1志望校、現役合格」をめざして一人ひとりが考え、努力し、自分の夢や希望を実現すべくそれぞれの進路先に進みました。現役進学率は、92.4%でした。

17期生は、新教育課程での2年目となり、共通テストでの難化が早くから予想された学年でした。事実、共通テストでは全国平均点が下がり、出願についても判断が難しいところではありましたが、これまでの自分の努力を信じ、強い気持ちで受験に挑んでいきました。結果的には志望する大学への合格を、多くの生徒がつかむことができました。卒業後も本校の教育理念である「World Citizen」を忘れず、世界に羽ばたく人材に育ってくれるものと確信しています。

2 最難関大、医学部医学科

現役生は、東京大に5名(文三に1名、理一に4名)のほか、京都大に5名(人文2名、総合人間、工、農各1名)が進学します。京都大の1名は特色入試での合格です。

医学部医学科については、国公立では、群馬大に4名のほか、弘前大、東北大、新潟大、大分大、名古屋市立大、大阪公立大にそれぞれ1名、私立大では自治医科大、北里大、東京医科大、東海大に各1名の計14名が進学します。

3 国公立大

最難関大を含む国公立大には現役生のべ75名が合格し、そのうちの68名が進学します。北は北海道から、南は大分県まで、東日本を中心に進学していきます。難関10大学では、上記東大・京大の10名のほか、一橋大に2名、東北大に8名、北海道大、名古屋大、九州大に各1名進学します。

4 私立大

昨年度から引き続き、補欠からの繰り上がり合格が少なくなっているように思います。

最多進学先は早稲田大で6名が進学します。その6名は全員指定校推薦による進学です。その次は慶應義塾大の4名、東京理科大の3名となっています。

5 過年度卒業生(浪人生)【参考】

過年度卒業生は、群馬大(医)、横浜国立大(理工)、神戸大(医)、九州大(工)、北里大(医)等に合格しました。

6 展望

「大学入学共通テスト」では、思考力・判断力が求められます。新教育課程2年目となり、出題傾向も固まってきたようですので、それを意識した対策が必要となります。また、総合型選抜や学校推薦型選抜だけでなく、一般選抜においても、「総合問題」の出題が増えつつあります。

本校は、FEWC課題研究をはじめとして、オープンクエストにも対応できる力を育てています。また、グローバル教育の推進とさらなる授業改善が、大学入試改革への対策に直結するものと考えています。

生徒全員の「第1志望校、現役合格」を実現するために、今後も関係の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

【表】卒業生の進路別実人数(現役生のみ)

卒業期	卒業生数	大学		準 大 学 等	就 職	進 学 努 力	現役 進学 率 (%)
		国 公 立	私 立				
1	124	50	53	4	0	17	86.3
2	124	51	56	4	0	13	89.5
3	119	50	48	0	0	21	82.4
4	120	49	54	3	0	14	88.3
5	124	60	52	4	0	8	93.5
6	119	61	46	3	0	9	92.4
7	122	60	53	2	0	7	94.3
8	122	44	62	5	0	11	91.0
9	123	52	55	1	0	15	87.8
10	122	57	59	0	0	6	95.1
11	122	65	43	3	0	11	91.0
12	119	54	61	0	0	4	96.6
13	116	45	61	4	0	6	94.8
14	119	64	52	0	0	3	97.5
15	114	49	56	4	0	5	95.6
16	119	62	51	0	0	6	95.0
17	119	68	40	2	0	9	92.4

- ・ 準大学等…文部科学省所管外の大学校のほか、短大、専修・各種学校、海外の大学等を含む
- ・ 現役進学率…(卒業生数-進学努力)/卒業生数×100